

● 『讚美歌』 90番

1. こもかみの みくになれば  
あめつちみうたを うたいかわし  
いわにきぎに そらにうみに  
たえなるみわざぞ あらわれたる
2. こもかみの みくになれば  
とりのねはなのか しゅをばたたえ  
あさひゆうひ はえにはえて  
そよふくかぜさえ かみをかたる
3. こもかみの みくになれば  
よこしましばしは ときをうとも  
しゅのみむねの ややになりて  
あめつちついは ひとつとならん  
アーメン



● 『讚美歌 21』 370番

1. おもいもことばも わざをもきよめて  
みこころのままに このひもすすもう
2. とうといちえにより なされるみわざに  
よろこびこたえて みさかえしめそう
3. こころのすべてを しられる主イエスの  
めいじられるまま みわざにはげもう
4. 主のくびきをおい いのりをわすれず  
いつもめをさまし 主の日を望もう
5. めぐみにあふれる ゆたかなたまもの  
おしまずいかして 主のみちあゆもう  
アーメン



● 『讚美歌 21』 530番

1. 主よ ころもみ うくるおり  
祈りたまえ わがために  
心おそれ 迷うときも  
愛の御顔 むけたまえ
2. 世の宝は 目をうばい  
世のほまれが さそうとき  
十字架の主の み苦しみを  
示したまえ わがむねに
3. わずらわしき 世のわざに  
やるせもなき 悲しみに  
なおひそめる いつくしみに  
見させたまえ あやまたず
4. 塵よりなる このわが身  
塵にかえる そのときも  
主よ 御顔を あおぎ見つつ  
行かせたまえ みもとへと  
アーメン



● 『讚美歌 21』 27番

1. 父・子・聖霊のひとりの主よ  
栄えと力は ただ主にあれ  
とこしえまで  
アーメン

